

参 考 資 料

学校生活支援シート（個別の教育支援計画）、 自立活動の「流れ図」、個別指導計画の作成例

ここでは、学校生活支援シート(個別の教育支援計画)、自立活動の指導内容の設定までの「流れ図」、個別指導計画の作成例を、6例掲載しています。

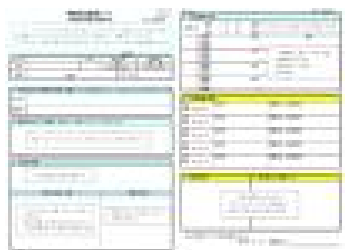
障害種ごとに、実態を把握するための情報整理や実態を踏まえた指導目標の設定、指導内容設定までの手順の「流れ図」を示していますので、自立活動の指導内容を設定する際の参考にしてください。

参考資料(目次)

作成の大まかな流れ	2
【事例1】知的障害特別支援学級	3
【事例2】言語障害通級指導学級	7
【事例3】弱視通級指導学級	11
【事例4】難聴通級指導学級	15
【事例5】特別支援教室(学習障害)	19
【事例6】特別支援教室(注意欠陥多動性障害)	25

作成の大まかな流れ

学校生活支援シート (個別の教育支援計画)



本人や保護者の希望を踏まえ、教育、保健・医療、福祉等が連携して、児童・生徒を支援していく長期計画のこと。

作成に当たっては、本編第1部第1章第10節「個別の教育支援計画」及び東京都教育委員会発行の各種資料を参考にする。

(参考)

* 個別の教育支援計画に基づく連携ガイドライン (平成29年3月)

* 「つながり」と「安心」保護者とともにつくる個別の教育支援計画

(平成28年3月)

* これからの個別の教育支援計画～「つながり」と「安心」を支える新しい個別の教育支援計画～

(平成26年3月)

自立活動の「流れ図」



自立活動の指導内容は、「流れ図」を作成し、設定する。

実態を把握するための情報収集や情報整理を行い、中心となる課題に対し、優先する指導目標を決め、指導目標を達成するために必要な自立活動の項目を選定し、関連付けて具体的な指導内容を設定していく。

(参考)

* 特別支援学校学習指導要領解説 自立活動編

個別指導計画

児童・生徒一人一人の指導目標、指導内容及び指導方法を明確して、きめ細やかに指導するために作成する長期及び短期の指導計画のこと。

指導を実施したのち、評価をすることで、指導計画の適切な改善を図る。

連携型個別指導計画



連携型個別指導計画は、児童・生徒が在籍学級でのよりよい適応を図るため、在籍学級、特別支援教室・通級指導学級それぞれで作成した個別指導計画において、主たる指導目標や指導内容を共有し作成する。

作成に当たっては、本編第2部第2章第2節「個別指導計画、連携型個別指導計画」及び東京都教育委員会発行の各種資料を参考にする。

(参考)

* 特別支援教室の運営ガイドライン

(令和3年3月)

* 小・中学校の特別支援教育の推進のために

(平成26年3月)